

(1) 決算の概要

平成 29 年度、松本大学では、前年度に文部科学省より設置認可を受けた教育学部学校教育学科が 1 期生 65 名を迎え入れてスタートした。また、松商学園高等学校では、硬式野球部が 9 年ぶり 36 回目の夏の甲子園出場を果たし、17 年ぶりに勝利を挙げることができた。決算についても、これらに係る収支が特徴的な年度となっている。

学生生徒等納付金については、松本大学では教育学部の開設により学生数が増加し、学生募集が順調であった松本大学松商短期大学部でも学生数が増加したことによって、大学・短大で 56,310 千円の増加となった。一方、松商学園高等学校では、長野県における 15 歳人口減少に伴う公私協調での定員調整のため前年度に 10 名の定員減が行われ、その定員通りとなるよう入学生数を抑制しているため、本年度も生徒数が大きく減少し学生生徒等納付金が 29,146 千円減少することとなった。平成 29 年度の学園全体の学生生徒数は、前年度より 23 名少ない 3,812 名となったが、学生生徒等納付金は前年度より 29,359 千円増加している。

寄付金については、松商学園高等学校の甲子園出場に伴う募金活動に対し、多くの皆様からご協力をいただき、総額 50,374 千円の寄付を受けることができた。

補助金については、松本大学で新たに文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」に採択されたこと等により 61,560 千円増加したが、松本大学松商短期大学部は学生数の定員超過に伴う補助金減、松商学園高等学校では生徒数減少に伴う補助金減があった。

支出では、松本大学において、教育学部の開設に伴う教員人件費の増加、経費の増加が生じているほか、松商学園高等学校では、甲子園出場に伴う経費が大きく発生している。

上記の収支に基づく教育活動収支差額は、学園全体で 162,375 千円の支出超過となったが、松本大学教育学部が開設初年度であるため 1 学年のみの収入となっていることが大きな要因であり、計画通り順調に推移しているものと考えている。

財務活動については、今般の低金利によって収入が減少しているため収支差額は 2,277 千円の収入超過に留まっており、経常収支差額は 160,097 千円の支出超過である。

特別収入としては、施設設備の拡充を目的とした寄付が 13,817 千円あり、特別支出には、汚損した図書の除却など資産処分差額が 15,520 千円計上されている。

基本金組入前当年度収支差額は 161,800 千円の支出超過である。

資金収支については、教育活動資金収支差額が 472,953 千円の収入超過となった。

施設整備等活動では、松本大学の学生数増加に伴い学生駐車場及び食堂棟の増設を計画し、当年度は駐車場の用地取得・造成工事を行った。食堂棟(9 号館)については、設計料を支払い、建設費のおよそ半額(314,349 千円)を第 2 号基本金引当資産に繰入れている。施設整備等活動資金収支差額は 513,893 千円の支出超過である。

その他の活動では、過年度に県と市の補助金から組入れた「松本大学教育学部教育研究引当特定資産」について、上記の学生駐車場用地取得・造成費、教育学部教員人件費などの当年度使用額を計 211,414 千円取崩し、支払資金に充当している。

これらのことから、当年度末の支払資金残高は、前年度末に比べ 132,411 千円の増加となった。

《事業活動収支関係》

【学生生徒等納付金】

当年度在籍した学生生徒に係る授業料・入学金等の納付金である。経常収入の中で最大の比重を占めており、当年度は68.9%であった。

【経常費等補助金】

国庫補助金は主に松本大学および松本大学松商短期大学部に係るものであり、地方公共団体補助金は主に松商学園高等学校および松本秀峰中等教育学校に係るものである。前年度に比べ、松本大学で61,560千円の増加となっている一方、松本大学松商短期大学部で18,149千円、松商学園高等学校では23,242千円、松本秀峰中等教育学校では10,571千円の減少となっている。松本秀峰中等教育学校における減少は、前年度の耐震改修工事補助金分である。

【雑収入】

退職金の支払に伴う退職金団体からの交付金等である。

【人件費】

経常支出の中で最大の部分を占める人件費は2,746,547千円となり、当年度の経常収入に対する割合(=人件費比率)は59.5%となった。

【教育研究経費】

前年度に比べ130,983千円の増加となった。増加は、主に松本大学教育学部に係るものである。教育研究経費に含まれる減価償却額は、496,323千円となっている。

当年度の経常収入に対する割合(=教育研究経費比率)は、35.8%であった。

【管理経費】

前年度に比べ16,548千円増加した。増加の要因は、主に松本大学教育学部に係るものである。管理経費に含まれる当年度の減価償却額は、4,933千円である。

【経常収支差額】

当年度の教育活動収支差額は162,375千円の支出超過、教育活動外収支差額は2,277千円の収入超過で、経常収支差額は160,097千円の支出超過となった。経常的な収支バランスを表す経常収支差額比率(経常収支差額の経常収入に対する割合)は、 $\Delta 3.5\%$ であった。

【基本金組入前当年度収支差額】

特別収入としては、寄付が13,817千円あり、特別支出としては、除却資産にかかる資産処分差額が15,520千円であった。特別収支差額は1,702千円の支出超過となり、基本金組入前当年度収支差額は161,800千円の支出超過となった。事業活動収支差額比率(基本金組入前当年度収支差額の事業活動収入に対する割合=従来の帰属収支差額比率)は、 $\Delta 3.5\%$ であった。

【当年度収支差額】

基本金組入前当年度収支差額から基本金への組入額469,670千円を控除した当年度収支差額は $\Delta 631,470$ 千円である。当年度の基本金組入額については、松本大学の学生駐車場及び9号館建設に係るものが大きな部分を占めている。

《資金収支関係(活動区分)》

【教育活動による資金収支】

本業である教育活動による資金収支は472,953千円の収入超過となった。

【施設整備等活動による資金収支】

施設整備等活動資金支出計は 558,056 千円であるが、通常の施設設備の取得のほか、翌年度竣工予定の松本大学 9 号館建設工事に係る建設仮勘定 21,887 千円及び第 2 号基本金特定資産繰入支出 314,349 千円が含まれている。当年度の施設整備等活動資金収支差額は、513,893 千円の支出超過となっている。

【その他の活動による資金収支】

当年度も借入は行わなかった。また、教育学部に対する県・市の補助金を原資とした「松本大学教育学部教育拡充引当特定資産」について、当年度使用額である 211,414 千円取崩して収入に計上している。支出は、預り金支出 36,980 千円などで計 45,798 千円となり、当年度のその他の活動資金収支差額は 173,351 千円の収入超過となっている。

【支払資金の増減額・翌年度繰越資金】

当年度の資金収支は 132,411 千円の収入超過となり、翌年度に繰り越す支払資金の残高は 2,424,162 千円となった。

《貸借対照表関係》

【有形固定資産】

減価償却等により、前年度に比べ 273,797 千円減少し、11,395,632 千円となった。総資産に占める割合は 77.1%となっている。

【特定資産】

第 2 号基本金引当特定資産は、松本大学 9 号館建設計画に基づき繰入れたものである。松本大学教育学部教育研究引当特定資産は、211,414 千円を取崩し 86,845 千円となった。特定資産の期末残高は 731,521 千円となり、前年度に比べ 115,268 千円の増加となっている。

【その他の固定資産】

前年度より 2,788 千円減少した。

【流動資産】

前年度より 127,409 千円増加し、2,571,675 千円となった。流動負債に対する割合(流動比率)は、278.0%と良好な水準を維持している。

【固定負債】

退職給与引当金のみであり、計算の結果 301,577 千円となっている。

【流動負債】

流動負債には、平成 30 年度入学生の入学金・授業料等が前受金として 647,942 千円計上されており、未払金期末残高の 225,478 千円や預り金等と合わせて、年度末残高は 924,933 千円となっている。前年度より 72,920 千円の増である。

【基本金・繰越収支差額】

第 1 号基本金は、固定資産の取得による組入れで 155,160 千円増加した。第 2 号基本金 314,349 千円は、松本大学 9 号館建設計画に係るものである。平成 29 年度末における基本金は 19,552,300 千円となった。

事業活動収支計算の結果である翌年度繰越収支差額は 6,003,907 千円の支出超過であり、純資産の部合計は 13,548,393 千円となっている。

平成 29 年度における主な寄付の状況（1,000,000 円以上）

寄付者名（敬称略）	寄付の目的	金額（円）
松本大学同窓会	松本大学教育学部設置に係る施設設備の取得	5,000,000
松本大学後援会	松本大学公務員試験対策講座運営費補助	4,300,000
㈱村瀬組	松本大学・松本大学松商短期大学部 海外留学給付金	2,000,000
戸田建設㈱	松本大学教育学部開設記念モニュメント制作費	2,000,000
松商学園 86 回生	高校・卒業 30 周年記念事業「緞帳・賞状台」購入	1,400,000
高山 一栄	学園創立 120 周年記念募金	1,000,000
小倉 宗彦	学園創立 120 周年記念募金	1,000,000

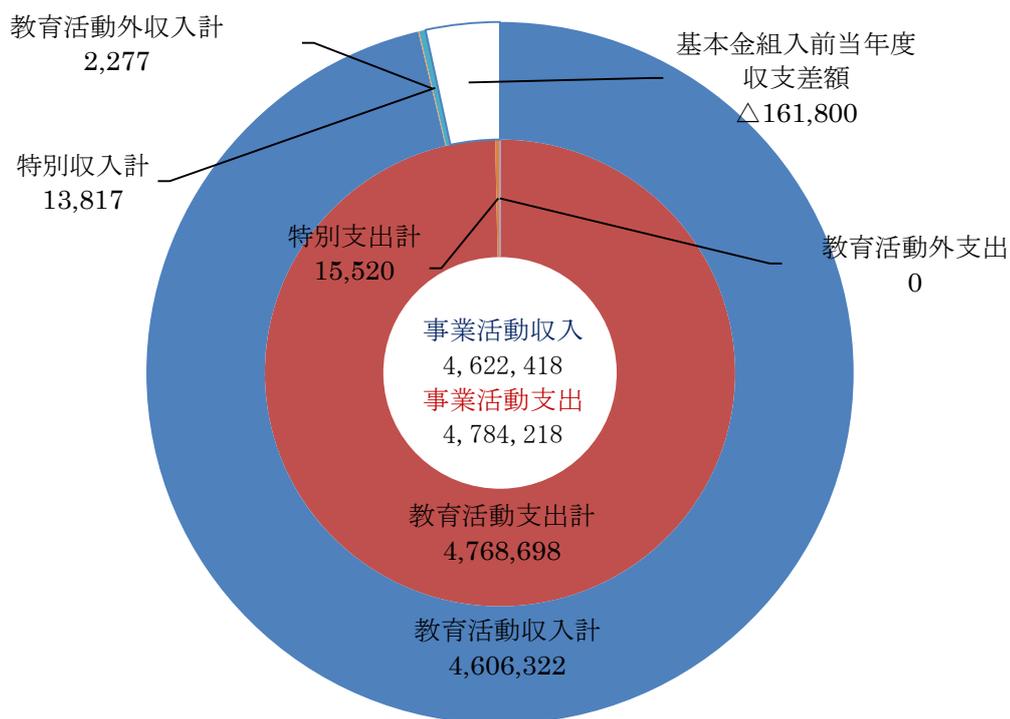
平成 29 年度における募金活動による寄附金実績（平成 30 年 3 月 31 日現在）

松商学園高等学校第 99 回全国高等学校野球選手権大会出場支援募金 50,374,960 円

中島治康氏銅像建立募金 5,417,574 円（受配者指定寄付金未配付額 880,000 円を含む）

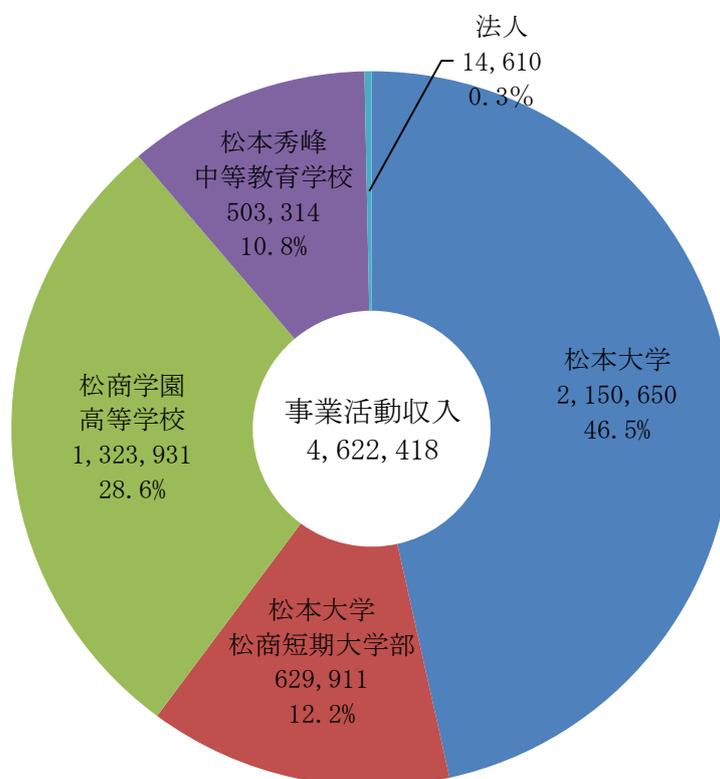
学園創立 120 周年記念募金 2,739,000 円（受配者指定寄付金未配付額 410,000 円を含む）

事業活動収支の活動別内訳



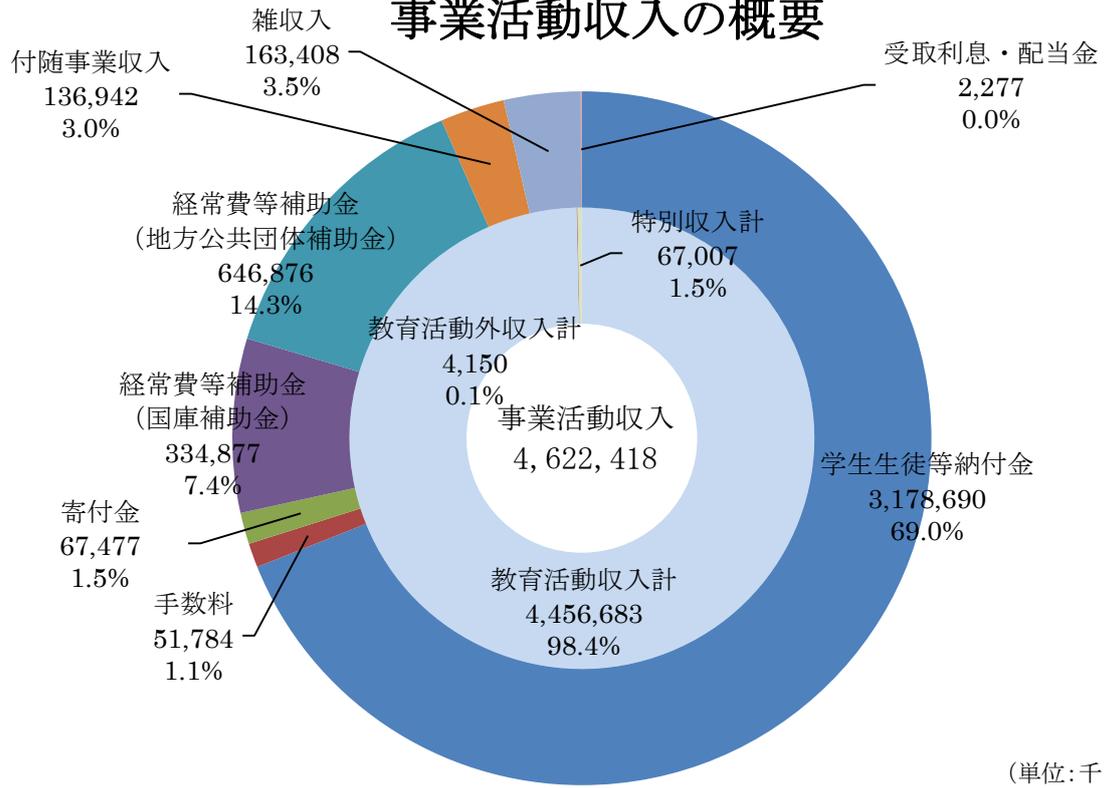
(単位:千円)

事業活動収入の部門別内訳

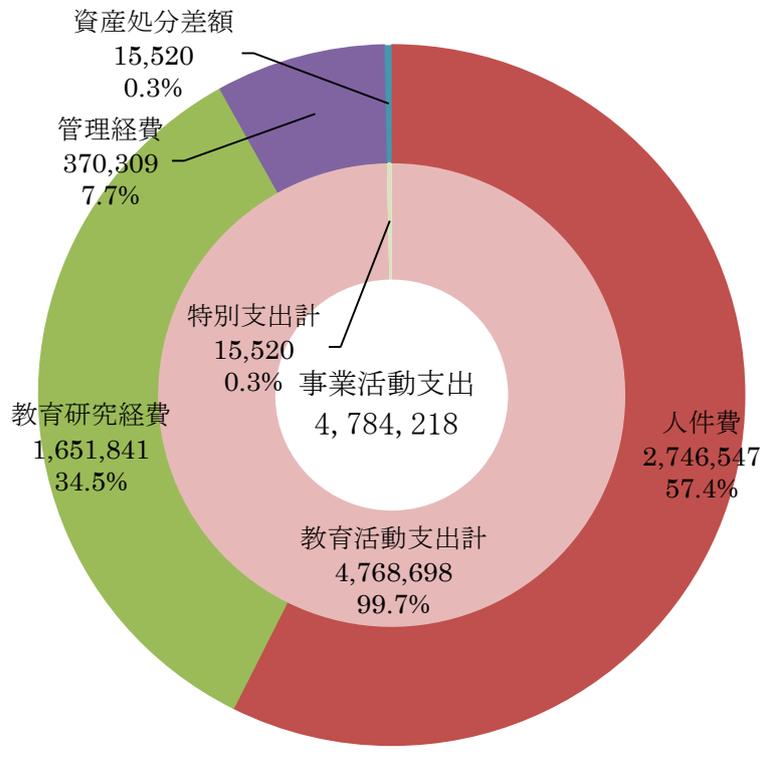


(単位:千円)

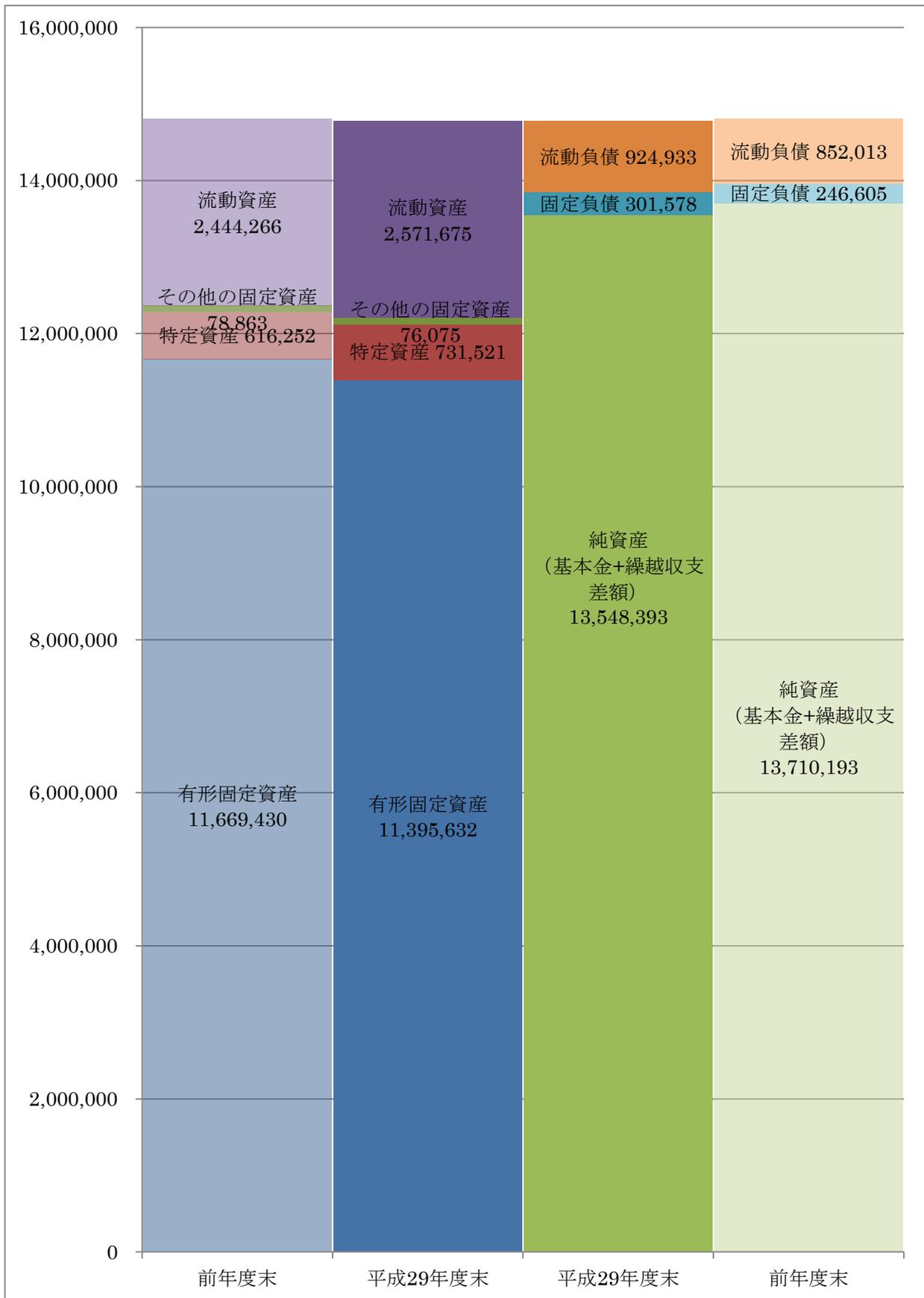
事業活動収入の概要



事業活動支出の概要



貸借対照表の構成(前年対比)



(単位:千円)